

2024年2月18日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第66巻第45号(通算3377号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

かみさまがすべてのひととともにおられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

丈夫な人に医者はいらないが、具合の悪い人には必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」  
を招くためではなく、「道を踏み外した者」を招くためである。(マタイによる福音書2:17)



じゅうなんせつ  
**レント(受難節)**  
だい しゅじつれいはい  
**第1主日礼拝**

れいはい  
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
しちよう  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう  
前奏(黙祷)

ちよさくけんしやうめつ  
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば  
招きの詞

へブライ書

せつ  
4章 15-16節

さんび か  
賛美歌

ばん かみ ことば ちよさくけんしやうめつ  
21-53番「神のみ言葉は」(©著作権消滅)

せいしょ  
聖書

ふくいんしよ  
マタイによる福音書

しやう せつ  
4章 1-11節

いの  
お祈り

さんび か  
賛美歌

ばん あ の なか きやうだんしゅつばんきよく  
21-284番「荒野の中で」(©教団出版局)

メッセージ

ひと い うしだ ただし ぼくし  
「人はパンのみにて生きるにあらず」 牛田 匡 牧師

さんび か  
賛美歌

ばん よ  
21-408番「この世のもので」(©JASRAC)

しゅいの  
主の祈り

ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかかいていいんかい  
21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの  
献げ物(\*)

はけん  
派遣

ばん かみ めぐ う せつ  
21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく  
祝福

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

こうそう  
後奏

ばん きやうだんさんびかかいていいんかい  
アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこく  
報告

ページ さんしやう  
(4頁をご参照ください)

せき すわ  
《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

ささげもの けんきん さんかひ  
\*「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

<sup>15</sup> この大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではなく、<sup>a</sup> 罪は犯されな  
かったが、あらゆる点で同じように試練に遭われたのです。<sup>16</sup> それゆえ、憐れ  
みを受け、恵みにあずかって、<sup>じぎ</sup>時宜に合った助けを受けるために、堂々と恵み  
の座に近づこうではありませんか。

(脚注 a：直訳「罪なしに」)

聖書 マタイによる福音書 4章 1-11節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>1</sup> さて、イエスは悪魔から試みを受けるため、霊に導かれて荒れ野に行かれた。  
<sup>2</sup> そして四十日四十夜、断食した後、空腹を覚えられた。<sup>3</sup> すると、試みる者が近づ  
いて来てイエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたら  
どうだ。」<sup>4</sup> イエスはお答えになった。

『人はパンだけで生きるものではなく

神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる』(申命記 8：2-4)

と書いてある。」

<sup>5</sup> 次に、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の端に立たせて、<sup>6</sup> 言った。

「神の子なら、飛び降りたらどうだ。

『神があなたのために天使たちに命じると

彼らはあなたを両手で支え

あなたの足が石に打ち当たらないようにする』(詩編 91：11-12)

と書いてある。」<sup>7</sup> イエスは言われた。『あなたの神である主を試してはならない』  
(申命記 6：16) と書いてある。」

<sup>8</sup> さらに、悪魔はイエスを非常に高い山に連れて行き、世のすべての国々とその  
<sup>えいが</sup>栄華を見せて、<sup>9</sup> 言った。「もし、ひれ伏して私を拝むなら、これを全部与えよう。」

<sup>10</sup> すると、イエスは言われた。「退け、サタン。

『あなたの神である主を拝み

ただ主に仕えよ』(申命記 6：13)

と書いてある。」<sup>11</sup> そこで、悪魔は離れ去った。

すると、天使たちが近づいて来て、イエスに  
仕えた。



《先週のメッセージより》2月11日 関西労働者伝道委員会デイ講壇交換・  
降誕節第7主日礼拝メッセージ

「恵みに生かされ」より

大阪大道教会・鈴木貴博牧師

聖書 ヨハネによる福音書 6章 1-15節

イエスが天に祈り、5つのパンと2匹の魚を分けたところ、5千人以上の人  
が食べ満腹することができました。しかも食べ残したパンくずを集めると、な  
お12のかごが一杯になったのです。常識では到底信じられない出来事です。  
ではこの、すぐには信じられない奇跡の物語は、私達に何を伝えているでしょ  
うか。

この奇跡が伝えていることは、まずイエスの恵みの豊かさです。さらにこの  
奇跡をもたらしたのは、共に分かち合おうとする愛だと言うこと、つまりイエ  
スの恵み豊かさ、それを分かち合おうとする愛が、奇跡を生んだということ  
です。その愛が人々の間に広がった。私達はこの奇跡をそのような出来事とし  
て受け止めるべきなのです。

弟子達のように「パンが5つしかない。しかし、食べる人は5千人いる。と  
ても無理だ」と諦めることはたやすいことです。そして出し惜しみをしてしま  
うならば、皆飢えてしまいます。私達があくまでその常識の世界の中にとどま  
り続け、諦めてしまうなら、この世は決して変わりません。しかし、それとは  
逆に、食べる人が5千人いる。しかし、パンは5つしかない。何とかしなければ！」  
皆がそう思う時、世界は変わります。一人一人の力はわずかでも、一人  
一人が動けば奇跡は起こるのです。イエスの愛は私達にそう教えて下さって  
います。ならば、ここで示された奇跡を通して主は、私達にも分かち合うこと、  
助け合うことの貴さと、その喜びを教えていないでしょうか。私達の命が恵み  
によって与えられたものならば、私達の命を生かすものも、すべて恵みによ  
って与えられたものはずです。そのことを信じ、主にならって私達が恵みと愛を  
分かち合うならば、今、私達の世界にも奇跡は起こり得ます。

五千人の供食の奇跡は、今なお主の恵みに生かされた者として、私達がこれ  
からも奇跡を諦めること無く、希望を抱いて歩んでゆくべきことを教えてくれ  
ています。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2月11日 関西労伝デイ講壇交換礼拝・降誕節第7主日礼拝  
礼拝出席 大人6名 献金 大人5,000円 中継視聴者数7回 感謝

◎次週 2024年2月25日(日) 受難節第2主日礼拝

招きの詞 詩編 18編 26-31節

聖書 マルコによる福音書 11章 15-19節

メッセージ 「ひっくり返せ！」水谷憲牧師

賛美歌 206番(©教団讃美歌委)、299番(©教団讃美歌委)、497(©JASRAC)

今年のレント(受難節・四旬節)は、2月14日(水)から3月30日(土)までです。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかについて考える時です。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けする予定です。どなたでもご参加ください。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・2月23日(金・休)10時半~12時半にかけて、大阪市生野区にある在日韓国基督教教会館(KCC会館)にて、全国キリスト教教育主事の会研修会の公開講座が開催されます。講師は越川弘英さんで「次の四半世紀における日本の教会と教育主事の展望と課題」という題で講演があります。参加費は無料です。対面での参加の他、ZOOMでのオンライン参加も可能です。オンライン参加ご希望の方はお申し出ください。
- ・大阪・京都・兵庫3教区の共同開催で「大阪・関西万博を考える——排除・環境・歴史」という連続講座が開催されています。第2回は次週25日(日)15時から17時に、兵庫・宝塚教会にて講師の村澤真保呂さんより「『SDGs万博』の欺瞞を暴く——自然と人間の新たな転換に向けて」という題でお話を伺います。会場での対面参加だけでなく、ZOOMでのオンライン視聴も可能です。ZOOMでのオンライン視聴参加をご希望の方は、下記のQRコードよりお申込みください。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
2/25	水谷憲牧師	誕生者祝福式
3/3	牛田匡牧師	ユークリスタ・教会を考える会
3/10	水谷憲牧師	
3/17	牛田匡牧師	

## 大阪・関西万博を考える

### 「排除・環境・歴史」

——メガイベントはもういない——

いま大阪では、2025年開催予定の「大阪・関西万博」に向けて、インフラ整備や再開発が急ピッチで進められています。しかし、その過程で行われているのは、強制排除であり、自然破壊です。そして、2019年4月の釜ヶ崎のあいりん総合センターの強制閉鎖は万博・カジノを見据えて行われ、120年前に大阪で開催された内国勧業博覧会のさいに行われた下層労働者の排除の歴史を繰り返すものです。

大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」ですが、いま行われているこれらのことはそのテーマに真っ向から反するものであり、命の輝きを奪い、破壊するものにほかなりません。

京都教区「教会と社会」特設委員会、兵庫教区社会部、大阪教区社会委員会はこのような大阪・関西万博に反対し、万博をめぐるこれらのことを学ぶための連続講演会を開催します。この連続講演会をとおして、命を傷つけ奪う万博に反対する声が届き、神の創られた世界と命が回復されるようにと願っています。

**第1回** 「排除」講師 いちむらみさこさん  
感動ビジネスと生活破壊——OLYMPICS KILL THE POOR  
日時：2024年1月28日(日)午後3時~5時  
会場：日本基督教団 室町教会

**第2回** 「環境」講師 村澤真保呂さん  
「SDGs万博」の欺瞞を暴く——自然と人間の新たな転換に向けて  
日時：2024年2月25日(日)午後3時~5時  
会場：日本基督教団 宝塚教会

**第3回** 「歴史」講師 原口剛さん  
虐げられた者たちの声を聴け——大阪・関西の博覧会史を振り返る  
日時：2024年3月20日(水・休)午後3時~5時  
会場：日本基督教団 東梅田教会

講演会はZOOMでも配信します。ZOOMからの参加をご希望の方は、QRコードでGoogleフォームからお申し込みください。室町教会は野炊一牧師までE-Mailにてお申し込みください。

E-Mail : asano\_kenichi@muromachi-church.org